

|| 企業調査レポート ||

## ソフト 99 コーポレーション

4464 東証 2 部

[企業情報はこちら >>>](#)

2020 年 12 月 17 日 (木)

執筆：客員アナリスト

**佐藤 譲**

FISCO Ltd. Analyst **Yuzuru Sato**



FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

## 巣ごもり消費の拡大や衛生管理ニーズの高まりを追い風に、 2021 年 3 月期業績は 3 期ぶりの増益に転じる見通し

### 1. 2021 年 3 月期第 2 四半期累計業績は主力事業の好調で期初計画を上回る

ソフト 99 コーポレーション <4464> の 2021 年 3 月期第 2 四半期累計の連結業績は、売上高が前年同期比 5.3% 増の 12,805 百万円、営業利益が同 12.6% 増の 1,416 百万円、経常利益が同 14.0% 増の 1,523 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が同 6.6% 増の 995 百万円といずれも期初計画を上回った。新型コロナウイルス感染症拡大（以下、コロナ禍）においてサービス事業及び不動産関連事業がマイナス影響を受けたものの、主力のファインケミカル事業やポーラスマテリアル事業では巣ごもり消費の拡大や衛生管理ニーズの高まりを追い風に、売上が好調に推移したことが主因だ。

事業セグメント別の業績を見ると、ファインケミカル事業は売上高で前年同期比 9.4% 増の 6,720 百万円、営業利益は同 34.7% 増の 994 百万円となった。コロナ禍において外出自粛や在宅勤務の拡大など生活様式が大きく変化し、自動車の洗車や補修を自身で行うニーズが増加したことを背景に、一般消費者用のボディケア製品の売上が同 12.3% 増、リペアグッズが同 17.7% 増と好調に推移した。また、マスク着用が常態化したことで、メガネケア製品（除菌・くもり止め用製品）も同 100.5% 増と急拡大した。業務用製品や海外向け製品等はコロナ禍の影響により減収となったものの、一般消費者向け製品の好調でカバーした格好だ。営業利益率も一般消費者用製品の販売伸長などにより、利益率が改善し、前年同期の 12.0% から 14.8% に上昇した。

ポーラスマテリアル事業の売上高は前年同期比 3.8% 増の 2,874 百万円、営業利益は同 11.9% 増の 397 百万円と 2 期ぶりの増収、3 期ぶりの増益となった。生活資材の売上は海外向けの落込みにより同 14.7% 減となったものの、産業資材が同 11.5% 増と伸長したほか、販管費が減少したことも増益要因となった。産業資材では、付加価値の高い半導体ウェーハ用精密洗浄材が海外大手半導体メーカー向けに好調に推移したほか、データセンター向け大容量 HDD の需要が高まっていることを背景に HDD 研磨用製品も増加し、海外売上だけで見ると同 27.4% 増となった。特に、半導体分野では付加価値の高いサブミクロン対応の最先端品が台湾向けを中心に伸長している。最先端品については高度な技術力が要求されるため世界でも同社を含めて 2 社しか供給していない。顧客側の在庫備蓄による需要増効果も好調要因として考えられるが、中期的に見れば引き続き成長分野として注目される。

サービス事業の売上高は前年同期比 3.7% 増の 2,635 百万円、営業損失は 0 百万円（前年同期は 47 百万円の利益）となった。生協向けや EC 販売が好調に推移した生活用品企画販売は同 34.5% 増と伸長したものの、自動車整備・板金事業の売上が外出自粛に伴う自動車稼働減少（事故車両の減少）の影響により同 12.6% 減と低迷したほか、自動車教習所事業も緊急事態宣言発出を受けて 1 ヶ月間の休業を余儀なくされ、同 9.5% 減となったことが減益要因となった。ただ、第 2 四半期だけで見ると営業利益は同 174.0% 増の 73 百万円と回復に転じている。不動産関連事業の売上高は同 19.4% 減の 574 百万円、営業利益は同 82.2% 減の 20 百万円となった。緊急事態宣言発出を受けて温浴施設の営業自粛を一定期間実施し、また、営業再開後も客足の戻りが鈍く、同事業の売上が同 27.7% 減と大きく落ち込んだことが減収減益要因となった。

ソフト 99 コーポレーション

4464 東証 2 部

2020 年 12 月 17 日 (木)

<https://www.soft99.co.jp/ir/>

## 2. 2021 年 3 月期業績見通し

2021 年 3 月期の連結業績は、売上高で前期比 5.2% 増の 25,700 百万円、営業利益は同 9.4% 増の 2,650 百万円、経常利益は同 7.1% 増の 2,770 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同 5.8% 増の 1,930 百万円と期初計画から上方修正している（売上高で 900 百万円、営業利益及び経常利益で 350 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で 210 百万円の増額）。これは第 2 四半期累計業績が主力のファインケミカル事業、ポーラスマテリアル事業を中心に期初計画を上回ったことが主因で、下期の既存事業の見通しについてはほとんど変更しておらず、保守的な印象だ。また、2020 年 8 月に子会社化したアズテック（株）の業績が下期から加わることになり、売上高で 3.5 億円程度の増額要因となっている。営業利益についてはのれん償却でほぼ相殺されるため影響は軽微と考えられる。アズテックは医療施設向け衛生関連用品の開発販売を行うファブレス企業で、特に手術室向けオートモップはほとんどの大規模病院で利用されている。医療分野はポーラスマテリアル事業でも注力分野として掲げており、今後、同社の高い技術力とアズテックの販売力を融合することで医療分野を新たな収益の柱として育成していく考えだ。

## 3. 中期経営計画について

2021 年 3 月期からスタートした新中期経営計画では「Overtake!!（顧客変化を追い越せ!!）」をテーマに、将来の社会変化を新たな事業領域の拡張の機会と捉え、既存技術・ノウハウの横展開に加えて新たな技術・ノウハウの獲得、及びこれらの融合を図ることで、“他にない”新しい価値と事業の創出を目指していく方針だ。最終年度となる 2023 年 3 月期の経営数値目標は、売上高で 27,100 百万円（2020 年 3 月期比 11% 増）、営業利益で 2,850 百万円（同 18% 増）とし、営業利益は 2018 年 3 月期以来の最高益更新を目指す。事業セグメント別では、ファインケミカル事業がけん引する格好となり、もう一つの柱であるポーラスマテリアル事業については、将来の成長を見据えた人材投資や開発投資を積極的に進めていく期間と位置付け、利益の伸びは見込んでいない。また、今回より事業運営の効率性を示す ROIC（投下資本利益率）を KPI として取り入れており、2020 年 3 月期実績の 5.6% から 6.1% まで引き上げていくことを目指している。

## 4. 株主還元策

株主還元については、「安定的な配当の継続」及び「連結営業利益の 25% を目安とする」という基本方針を掲げている。2021 年 3 月期の 1 株当たり配当金は業績を上方修正したことに伴い、期初の 25.0 円から 27.0 円（還元率 22.3%）に修正し、6 期連続の増配を予定している。

#### 重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けて作成されていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

#### ■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-11-9

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（情報配信部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp